

野生動物の生態 を被害対策に リンクする



夜間に森林内から集落へ人知れず侵入するクマやシカ。昼間に突如として群れで現れるサル。森林動物研究センターでは、これまでに神出鬼没な野生動物の行動や生態を GPS 首輪や自動撮影カメラで調べてきました。この成果は、対策にフィードバックされ、被害はまだまだ大きいですが、一歩ずつ前進してきています。今年のシンポジウムではセンターで行っている調査手法・結果を紹介し、調査結果によりわかってきた哺乳類の生態と被害対策とのリンク事例を紹介します。

開催日時

2021. 2. 27 (土)

13:00~16:30

今回は開催形式を変更しWEBで公開

ライブ配信 + オンデマンド配信

参加費無料・事前申込必要

【申込方法】

QRコードよりアクセスし、必要事項を記入の上、お申し込みください。

配信申込締め切り
2月22日(月)



◆シンポジウムを収録したオンデマンド配信
《配信期間：2021年3月3日~9日》

◆配信用 URL は直前のご連絡になりますので、ご了承ください。

野生動物の保全と管理の最前線

野生動物の生態を 被害対策にリンクする



◎開会挨拶 梶 光一 所長/東京農工大学 名誉教授

◎研究発表 ■境界線を超えるツキノワグマたち -衛星 GPS の追跡から-
横山真弓 研究部長 / 兵庫県立大学 教授

■ニホンザルの行動圏を GPS で探る -群れの動きをモニターする-
森光由樹 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授

■シカ生息下での人工林伐採跡地における広葉樹林再生の課題
藤木大介 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授

■自動撮影カメラでとらえる島で増え続けるイノシシ
栗山武夫 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授

■兵庫県における平成時代の中・大型哺乳類の生息状況の変化
高木 俊 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授

■野生動物被害への感情をモニタリングする -被害軽減のモデル集落の調査から-
山端直人 主任研究員 / 兵庫県立大学 教授

■兵庫県における被害対策の取組について
池田恭介 森林動物専門員

◎講 評 梶 光一 所長 / 東京農工大学 名誉教授
林 良博 名誉所長 / 国立科学博物館 館長

【お問い合わせ】



〒669-3842 丹波市青垣町沢野 940
TEL 0795-80-5500

URL <http://www.wmi-hyogo.jp/>

兵庫県森林動物研究センター

検索